

5月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭や友達と好きな遊びを楽しみのびのびと過ごす。(散歩、戸外・室内遊びなど。) ・いろいろな遊びの中で、ルールやきまりがあることを知る。(鬼ごっこ、集団遊びなど。)
-------	--

クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達を誘い合いながら集団での遊びが多く見られてきた。色々なことに興味をもち積極的に行動する姿があるが、互いの勘違いや言葉足らずなことによりトラブルも見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 男の子、は男の子で、女の子は女の子でのグループを作り遊ぶ姿が見られる。集団で遊ぶ楽しさを味わっている反面、トラブルも増えてくる。手が出ることはないわけではないが少なくなってきた。言葉で自分の気持ちを伝えることが出来るようになってきた分、言葉でのトラブルが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れてきて保育者や友達に親しみをもって関わったり、朝夕などの身の回りのことを手伝ってもらいながら自分でやってみようとしたりする姿が見られる。 ・友達ともかかわりの中で不快に感じることもあると先に手が出たり相手を責めたしする様子も見られる。
自己評価を踏まえての改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に慣れてきていることもあり、ますます活発に行動する姿が見られてきた。良い部分は伸ばしてあげられるような言葉掛け等を心掛け、また慣れてきたことによるトラブル等には、ゆっくりと時間をかけ丁寧な関わりをしていく。集団でのルールのある遊びをもっと取り入れ、クラス全体でのまとまりに繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを伝えられるようになってきてはいるが、相手の気持ちを受け止める、知るという所まではいかずぶつかり合う。たくさんぶつかりながら自分たちで解決しようとする姿も見られるので、見守りながら、必要に応じて声を掛けたり、援助していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のやり取りに目を向け状況を把握し、トラブルが起きた際はお互いの行動や気持ちを振り返り、整理することで落ち着いて解決できるように対応していきたい。
保護者と地域への子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス便りにて泥遊び・水遊びの準備物についてのお知らせをする。 ・必要に応じて個別での面談を実施し、日頃の様子や相談に応じる。少しずつ家庭との信頼関係を築いていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士の良い関わりもトラブルも伝え、どこがどのように育っているのか、共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活への意欲向上や身の回りのことに気づく力を持てるように布パンツへの移行を進めることを呼びかけていった。 ・子どもの様子が知りたいという保護者の思いに寄り添い連絡帳や口頭でその日の様子を伝えることで安心感を持てるようにしていく。
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組)	0歳児(つぼみ組)
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩では春の植物や生き物と親しめる散歩コースを設定していた。こどもの発見に共感しつつ、絵本や関連した製作(ちょうちよ)なを楽しむ中で、生き物への興味が広がっているようだった。 ・新しい環境にもすっかり慣れ、ふざけたり、好き嫌いがはっきりできたり、ものごとがうまくいかないと癪癪を起こす姿が見られるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園での生活にも慣れ、少しずつ自分の思いや欲求を泣きや行動、簡単な言葉で表現しようとしていた。その中で友達の名前を呼び合う姿や身の回りの事を自分でやってみようとする姿が見られてきていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 風邪・下痢などの症状が出ている期間が長かった為、室内と戸外に分かれての活動が多くあった。又、病み上がりの子、午前寝する子も無理なく室内で過ごしたり散歩に少し出るなどして、個々に合わせたリズムで過ごすことを心掛けていた。園の生活に慣れ、指差しや喃語で自分の思いを伝えようとする姿が見られた為、丁寧に関わり、伝わる嬉しさを感じられるようにしている。
自己評価を踏まえての改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・育ち(自我の芽生え)と捉えて、1対1で向き合いながら意思の疎通を図っていく。また、大人に認められる、認める姿を見せることで、こどもも相手を受け入れたり、認められるようになると思うので意識して関わっていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちへに興味や関わりが広がり、自分の思いが通らないと噛みつこうしたり、叩こうとしたりする姿が見られる。未然に防ぎながらも取り合いなどで手が出ない時は傍で見守りながらお互いの思いを代弁し、やり取りをしながら関わり方や一緒に遊ぶ楽しさをに知っていかれたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いが出てきて保育者に伝えようとする姿と、友だちと関わろうとする姿も見られてきている。友だちの顔に興味を示し口の中に手を入れてみようとしたり、髪、服を引っ張ってしまったりすることがある。その際に指を噛んでしまったり、転倒につながる事もある為、保育者の配置や子どもの動線を、保育者間で言葉掛け、より一層周りに気に掛けながら保育をしていきたい。
保護者と地域への子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・気温によって衣服の調節ができるよう、準備をお願いする。 ・遊びや生活の様子をお知らせする中で、家庭での悩みも共有して頂き、園での姿と照らし合わせながら一緒に解決できるように話をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の変化に気を付けながら、家庭にも細目に伝えゆっくりと家庭で休息をとりながら症状の悪化を防げるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化が激しい為、気温によって衣服を調節できるように、着替えについて準備をお願いする。 ・体調の変化が多い為、お帳面や口頭で体調の様子をこまめに連絡していき、無理なく過ごせるようにしていく。